

緊急抗議集会開催

神領分会は、2012年11月22日、分会事務所にて「加藤分会長にかけられた強制転勤反対」の抗議集会を開催しました。これは、加藤分会長が区長より「大垣運輸区転勤」の事前通知書を渡されたことに対して、組織をあげて反対の意志を示し抗議をしていくことを明らかにした集会でした。

集会には、急な取り組みに拘わらず、他の分会、他地本、OBも含め15名が参加しました。15名が抗議の意見を述べあい集会が開催されました。「分会長であり、加藤さん個人も貴重な存在」「分会長として頑張ってきてもらってきた」「神領分会の弱体化が目的」「会社の本質を見た」「怒りを持つ」「理由が見あたらない」「愛知県労働委員会の報復だ」「加藤さんが証人に立ったことへの報復だ」「加藤さんはこの10年間、神領で仲間作りのために奮闘してきた。分断攻撃である」等々。加藤分会長への転勤は、強制であり、不当であり、東海労組織破壊攻撃であることを集まったすべての仲間の口から出されました。

悔しさを忘れず組織の強化と拡大で反撃を誓う!

加藤分会長は、悔しさを噛みしめながら「鉄道人生30年の中で一番思い出深い



職場、分会になった」「このままズートいるものと思っていた」「退職まで神領で頑張ろうと思っていた」「嫌がらせだ」「悔しい」と思いを話されました。

集会は、遠山書記長の団結ガンバローで抗議と闘うの意志、攻撃を跳ね返すことを全体化して終了しました。

JR東海労神領分会